

## 町民説明会開催にあたって 小清水町長 久保弘志

日頃から皆様には、本町行政の推進にあたりまして、ご理解とご協力をいただき、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、昭和37年に完成した役場庁舎は、現在の耐震基準を満たしておらず、平成29年度に実施した耐震診断では、「大規模な地震に対して倒壊の危険性が高く、補強改修も困難」という厳しい診断を受け、加えて、平成2年に増築しましたプレハブ庁舎も、経年劣化による老朽化が進んでいる状況にあります。

多くの住民の皆さんに利用していただく役場庁舎は、安全な施設であることはもとより、災害発生時には、その対策本部としての機能を十分に発揮する施設でなければなりません。さらには、少子・高齢化社会の中、ますます重要となってくるコミュニティの拠点として、町民の皆さんが親しみを持って、気軽に訪れてくださる空間、「人がいつでも集う」施設整備に取り組まなければならないものと考えております。

私は一昨年8月、町長に就任する際に「住んでよかったまち・住みたいまちづくり」の実現に向け、安心して暮らすための社会資本基盤の質の向上を図るための具体策として、庁舎、中央公民館、保健センターなどを集約した「複合型コミュニティ施設」の早期建設をめざすことを、公約に掲げて参りました。

この考えのもと、この度「防災拠点型複合庁舎建設基本構想」を策定いたしましたので、その中の基本方針を基に、町民の皆様から忌憚のないご意見をいただき、そして、意見交換を図りながら、安心・安全に健康長寿を全うできるまちの基盤として、愛される施設づくりに取り組んでいくことといたしました。

説明会では、先程申し上げました基本構想の内容についてご説明させていただくとともに、これまでの検討経過などにつきましてもご説明させていただいた後、意見交換をさせていただきたいと存じます。

限られた時間の中ではありますが、皆様のご理解とご協力によりまして、有意義な意見交換ができますことをご期待申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。